

2024年10月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【特別入試】・
2025年4月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【8月募集】入学試験問題

講座（学修分野）	国際比較経済（グローバル経営・経済）、経営学
専門科目	経営学

以下の問1、問2の両方に解答しなさい。問1は解答用紙の第1ページと第2ページに解答し、問2は解答用紙の第3ページと第4ページに解答しなさい。

問1 T. J. ピーターズ&R. H. ウォーターマンによる『エクセレント・カンパニー』に示されたエクセレント・カンパニーの基本的特質は、従来の分析的戦略論や戦略経営の手法が推奨する経営戦略や経営組織のあり方と多くの点で対照的だったと言われている。分析的戦略論や戦略意義経営の意義と限界を整理しながら、エクセレント・カンパニー論が当時の経営学に与えた影響を説明しなさい。

問2 次ページ以降の文章を読み、以下の(1)、(2)および(3)の全てに解答しなさい。

(1) 下線部①、「BCG マトリクス、PPM(プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント)分析」を活用することのメリット、デメリットについて説明しなさい。

(2) 下線部②、「ゲームのルールを変える」理由、及びその効果について説明しなさい。

(3) 下線部③、「ナンバーワン・ナンバーツー戦略」の多角化戦略におけるメリット、デメリットについて説明しなさい。

（出典）リチャード・P・ルメルト著、村井章子訳（2023）『戦略の要諦』、日本経済新聞出版、274-277 ページ、一部改変。

以上